

対策:

期間 7月から9月の間 シニアリーグ独自の「Cooling Break」を設定する。

「Cooling Break」設定方法:

- 1、前後半1回ずつ、それぞれの半分の時間が経過した直後のアウトオブプレー時に2分間の「Cooling Break」を設定し、選手・審判員の休息を促す。
- 2、選手はベンチにて休み、飲水や氷・アイスパック等で身体を冷やす。

留意点:

- 1、原則として試合の流れの中で両チームに有利・不利が生じないようなアウトオブプレー時に主審が判断して設定する。
- 2、審判員も休息をとり、2分間のタイムキーパーは4審が行う。
- 3、「Cooling Break」時間内の戦術的な指示を許容する。
- 4、インスペクターと4 審はベンチ内を監督し、試合再開時には選手を速やかにポジションに戻るよう促す。
- 5、「Cooling Break」に要した時間は前後半それぞれの時間に追加される。
但し、四十雀は時間的制約のためこの期間は25分ハーフとする。
- 6、「Cooling Break」時の交代は、主審が Cooling Break の笛を吹く前に選手交代の手続が完了していれば、再開の笛を吹く前に認める。
- 7、試合当日開始前に、健康を障害するような異常な暑さがある場合はインスペクター・主審・競技委員等で相談の上、
「雷雨時の対応と処置について」に準じて延期できる。

補足:

- 1、「Cooling Break」は2分ですので4審は1分半ぐらいで選手・審判員に元のポジションに戻るよう促す。
- 2、「Cooling Break」時ベンチ内は出場選手と控え選手が混在しますので控え選手は必ずビブスを着用させて下さい。
- 3、1年を通して審判員の帽子を許容しますが、万が一選手と接触しても危険がないものに限りです。
- 4、該当期間(7月から9月)以外は原則飲水タイムで対応する。
なお、該当期間(7月から9月)以外でも熱中症の危険がある場合は、試合毎に、試合開始前に、インスペクター・主審・競技委員等で相談の上、「Cooling Break」を設定することを可能とする。
(下線部が修正箇所です)

以上